

昭和 48 年 3 月 17 日

( )

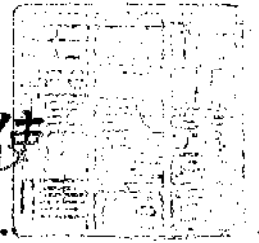
第 1190 号

昭和

昭和 48 年 3 月 17 日

# 外務大臣 廳

在大韓民國  
後宮大使



(件名)

原爆被害者、日本厚生次官に援助要請 (記事)

引用公・電信  
日付・番号

3月16日付 朝鮮日報に、韓国原爆被害者援護

協会釜山支部長 李一香女史が、15日、山口厚生

政務次官を訪問し、韓国原爆被害者に対する

援助を要請した旨を報じたこと、記事掲載を

付属添付  付属空便 (行)  付属空便 (DP)  付属船便 (貨)  付属船便 (郵)

本信送付先:

本信写送付先:

省内写配布希望先:

0494

別添報報告申1列子。

### "2萬 原爆피해자를 救助하라"

李일수 女史, 單身 日 原生을 찾아 要求

【東京 16일 申用 津島 新聞】  
 「히로시마」(廣島)에서 원자폭탄을 맞은 한국부인이 15일 단신으로 일본후생청(厚生省)을 찾아 「한국에 살고 있는 원자폭탄피해자들을 구호해달라」고 호소했다. 釜山 市 嶺南區 瑞洞에 사는 李일수 女史(34. 한국원폭피해자원호협회 釜山지부장)는 이날 「야마구치」정무차관과 만나 「차피전파 집중으로 강제복역 일본에 끌려와 「히로시마」「나가사키」등에서 원자폭탄을 맞아 유유중에 고생

하고있는 피폭자가 2萬명이나 한국에 있다」고 절망하고 『이들의 대해 일본인 피폭자와 같은 원조를 해달라』고 호소했다.  
 이에 대해 「야마구치」차관은 「인도적인 입장에서 또는 자의의고려로서 이들의 피할 수 없는 고통을 절대로겠다」고 포괄적인 자세를 보이면서 「한국정부와 협의해서 원폭관계 전문의사부담을 담당할 수 있는 한국 의사들의 해외출근을 원폭피해자들의 원호차로 해라」고 약속했다.

(復讐)

(3月16日付 朝鮮日報)

李世史、厚生省訪問の上、原爆被害者の救助を要求

(東京=特派員)

広島で原爆の被害を受けた 韓国人婦人が

15日単身で日本厚生省を訪問し、「韓国に住んで

いる原爆被害者たちを救助して~~て~~<sup>ほしい</sup>。」と訴えた。

釜山市影島区大橋洞に住んでいる李一秀女史

(44・韓国原爆被害者援護協会釜山支部長)は、

15日山口政務次官を訪問し、「2次大戦'当時

徴用で日本に連れられてゆき、広島・長崎などで

原爆の被害を蒙り、後遺症で苦しんでいる

被爆者が 2万名も韓国に住んでいる。従って

対して、日本の被爆者と同じように援助として<sup>いかにせよ</sup>

と、訴えた。

これに対して、山口正官は、「人道的な

立場から、また福祉外交の面から、従って対する

救済方策を検討するとしている。韓国政府と

協議した<sup>者</sup>上、原爆治療の専門医<sup>者</sup>を

韓国に派遣するか、または韓国の医者へ招請

して、原爆被害者に対し<sup>国</sup>治療の資料などを

提供する。」と、前向きな姿勢を示した。